

# 支援機器相談シート

相談日 2021年 7月 2日

小学部 児童1

相談内容

## ●保護者より

①言葉でのやりとりが上手になってきたため、更にコミュニケーション能力を高められるような支援機器や方法はないか知りたい。

②平仮名や単語など文字に興味をもてるような支援機器がないか知りたい。音楽が好きであるため、音が鳴って楽しみながら文字の学習ができる機器が理想である。

③電化製品のスイッチを押したりスマートフォンやPCの簡単な操作ができたりするため、電子機器関係で指先を活用する知育機器があるか知りたい。

④家ではチャーハンばかり食べている。給食のようにいろいろなおかずを食べてほしい。食べたくなるようなお皿や支援器具などはあるか？

## ●担任より補足

コミュニケーションの実態

・「先生、今日の3時間目何？」など興味のあることについてはどんどん言葉が出てくる。こちらからの簡単な質問には答えられるが、質問の意味が分からないときは話をすり替えて自分の話や要求を伝えようとすることがある。

・大人に対してのコミュニケーションは得意であるが、子ども同士のコミュニケーションは苦手です。自ら友達に話しかけることは少ない。「先生、〇〇くんどうしたの？」など大人を通そうとすることが多い。

活動時の実態

・学習時に集中できる時間が延びてきているが、椅子に座って活動に集中できる時間は15分ほどである。タブレットなど電子機器を休み時間によく触っている。動画視聴など好きなことをしているときは30分以上椅子に座っていられる。

・手先は比較的器用で、ストローをひもに通す作業を10分ほど連続で取り組むことができる。

・給食では好き嫌いはあるものの基本何でも食べることができる。繊維質や硬い物が苦手。

相談結果

## ①② 絵と文字をセットで覚える。

・文字での理解が苦手だが音やシンボルでの記憶が得意な児童には、イラストと文字と音声をセットにして覚える方法がよい。一つの絵本を繰り返し何度も聞いて音と絵を覚えていくために、デイジーを利用してはどうか。デイジー図書やデイジー用アプリなどいろいろある。図書館のバリアフリーサービスで扱っているところあり。

・seeing AI を利用する。

Microsoft の無料アプリで、短いテキストをカメラに向けると、それを音声で読み上げる。

デイジー (DAISY) は、「Digital Accessible Information SYstem」(アクセシブルな情報システム) の略。デイジーはもともと視覚障害者の読書のために開発されたもの。



パソコンで音声を聞きながら、絵や文字を見ることができる資料です。文字の大きさや背景の色、文字を読み上げるスピードなどが変えられるので、文字が苦手なお子さんや印刷された文字が読みにくい方におすすめです。視覚障害のほかに学習障害、知的障害、精神障害の方に有効であることが国際的に広く認められてきています。

### ①③ 自分の大好きなことを発表してみんなに伝える。

・大好きな家電の説明やお店の特徴など、なんでもいいので得意分野についていろいろな人の前で発表する機会をもつとよい。コミュニケーションは相手がいることが不可欠。誰かに自分の好きなことをたくさん伝えてみよう。

### ①③ 子ども同士で遊ぶ機会を増やす。

・対大人とのコミュニケーションは、大人が子どもの言いたいことをすぐに察知してしまうが、子ども同士では言いたいことを一生懸命伝えようとしないと伝わらない。一緒に遊ぶなかで言葉を伝えたり、物の受け渡しをしたりして、コミュニケーション能力を高めていくことが大切。

### ④ 食べやすさを探る。

- ・子どもの好きな食感や形態を見つける。
- ・食事時の雰囲気を楽しく。食べる場所の雰囲気や音楽など。
- ・料理に興味をもつために、料理を作っている動画を遊びの中で見る。
- ・給食でおいしく食べられたメニューを家でも作ってみる。
- ・見た目から楽しめるようお弁当箱に入れてみる。
- ・子どもの好きな料理動画があれば、その通りに作ってみる。
- ・好きな食器を見つける。(持ちやすさ、大好きなイラスト)
- ・自分で食べることができた！という経験が食べる楽しさにつながる。

<食器の例>

